

1. 巻頭言

センターレポート第14号によせて



長崎大学総合情報処理センター長

小山 純

E-mail: oyama@ec.nagasaki-u.ac.jp

長崎大学総合情報処理センター長に就任し、「ご挨拶代わりに巻頭言に「現在総合情報処理センターが力を入れて取り組んでいる課題の一つに“長崎大学キャンパス情報ネットワーク構想”があります。」と述べ、「全学の皆様方のご協力、ご援助」をお願いしたのは平成3年1月のことでした。それから4年、横山学長、井上事務局長をはじめ全学の関係者のご努力の結果、長崎大学キャンパス情報ネットワーク(NUNET)が完成し、昨年7月完成披露式典を挙行することができました。センターの永年の夢がかなったわけで、こんなに嬉しいことはありません。あらためて関係者の皆様に御礼申し上げます。

NUNETという素晴らしいハードウェアが実現した現在、つぎの問題は、いかにこれを使いこなすかです。センターレポート第14号の記事のほとんどを占めているのは、“コンピュータネットワーク新時代”と題した牛島九大教授の披露式典での講演をはじめ、ネットワークとその利用に関する記事です。大学の至る所で、その利用の試みが始まっていることが伺えます。

現在、総合情報処理センターが提案している課題の一つが“ネットワークを利用した大学公開”です。Mosaic等で一度でもネットワークを体験された方はお解りと思いますが、ネットワークには距離感がありません。となりの研究室でも東京あるいはアメリカでも全く同じように情報を送り、あるいは受け取ることができます。言い換えると、長崎大学が持っている素晴らしい情報を、長崎大学が発信すれば、たちどころに世界中の人々に届けることができます。

長崎大学総合情報処理センターでは、センターの外観やネットワークの構成に関する情報を公開しています。また、長崎大学紹介のサンプルを作成中です。大学開放の有力な道具の一つとしての、ネットワークの活用を是非ご検討頂きたいと思います。長崎大学総合情報処理センターとしても、そのためのお手伝いをさせて頂きたいと考えています。